

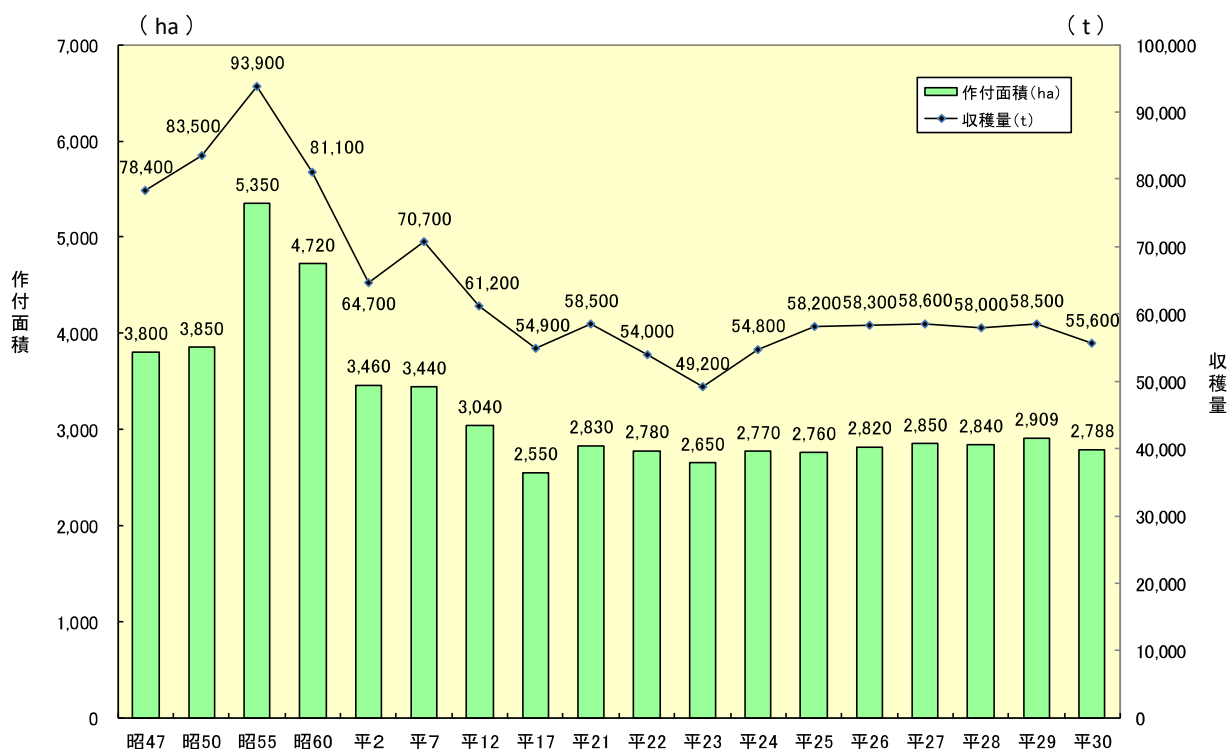
(2) 野菜

本県における野菜の生産は、亜熱帯の温暖な気候を活かした生産振興により、冬春期のさやいんげんやゴーヤーを中心とした県内外消費地への供給産地となっている。

平成30年の野菜産出額は158億円で農業産出額の16%を占めており、作付面積が2,788ha、収穫量が55,600トンとなっている。

近年の生産動向として、トマト、かぼちゃ、きゅうり、にんじん等の生産が伸びている。特に、かぼちゃは消費者の安全・安心志向による国産需要の増加で生産が伸びており、離島地域を中心に産地が育成されている。離島地域の振興としては、北大東村のかぼちゃ（平成26年度）に続き、平成30年度に宮古島市がさやいんげんの拠点産地として認定され、今後の生産振興が期待される。

野菜生産の推移



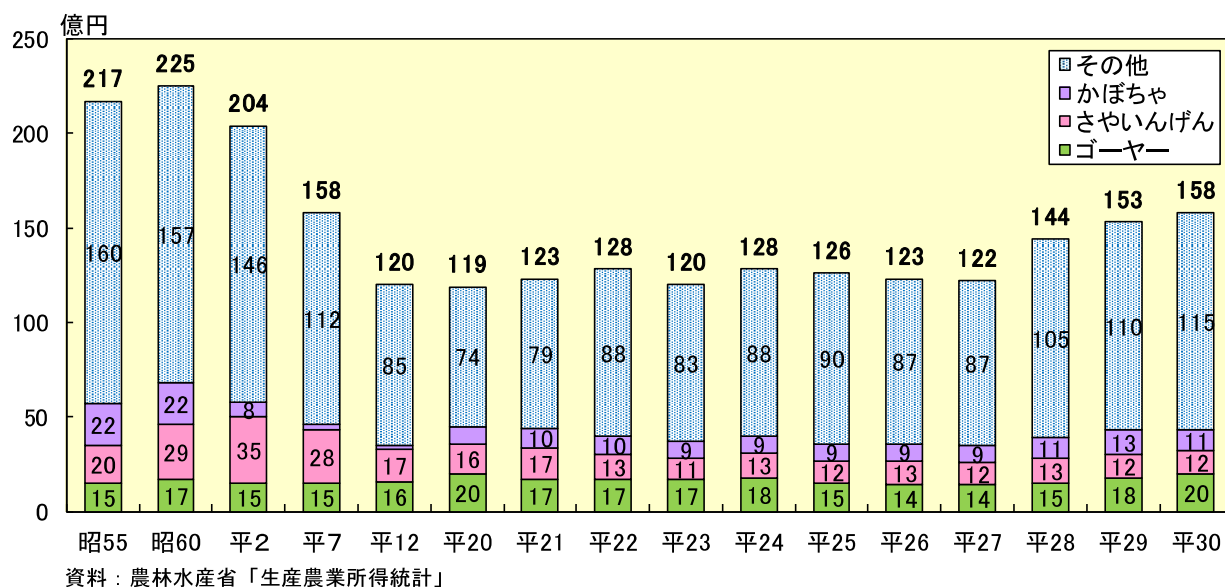
資料：内閣府沖縄総合事務局「園芸・工芸農作物市町村別統計書」（平成18年以前）、
農林水産省「作付面積調査」（平成19年から平成28年の作付面積）、
沖縄県園芸振興課資料（平成19年以降の収穫量、平成29年以降の作付面積）

主要品目の全国シェア

	年産	全国における順位	収穫量(t)		県/全国(%)	備考
			沖縄県	全国		
ゴーヤー	平30	1位	7,346	18,077	40.6	2位 宮崎県 3位 鹿児島県
とうがん	平30	1位	2,756	9,202	30.0	2位 愛知県 3位 神奈川県
オクラ	平30	3位	1,314	11,665	11.3	1位 鹿児島県 2位 高知県
らっきょう	平30	4位	510	7,767	6.6	1位 鳥取県 2位 鹿児島県
さやいんげん	平30	5位	2,160	37,400	5.8	1位 千葉県 2位 福島県
かぼちゃ	平30	8位	3,750	159,300	2.4	1位 北海道 2位 鹿児島県

資料：農林水産省「地域特産野菜の生産状況」（ゴーヤー、とうがん、オクラ、らっきょう）、
農林水産省「野菜生産出荷統計」（さやいんげん、かぼちゃ）

野菜産出額の推移



さやいんげん



かぼちゃ

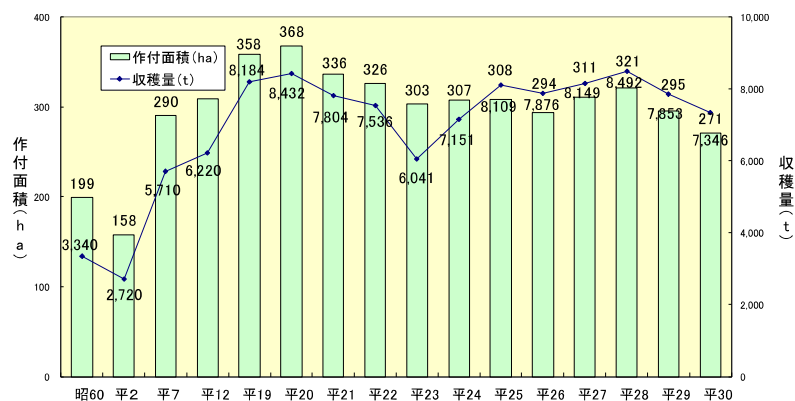


オクラ

ゴーヤーは、本県の野菜生産における主要品目であり、沖縄県農業研究センターにおける優良品種の育成、栽培施設の整備、栽培技術指導、消費拡大対策等により生産振興が図られている。

平成30年は、産出額が20億円、収穫量が7,346トンとなっている。

ゴーヤーの生産状況



資料：内閣府沖縄総合事務局「園芸・工芸農作物市町村別統計書」、沖縄県園芸振興課資料



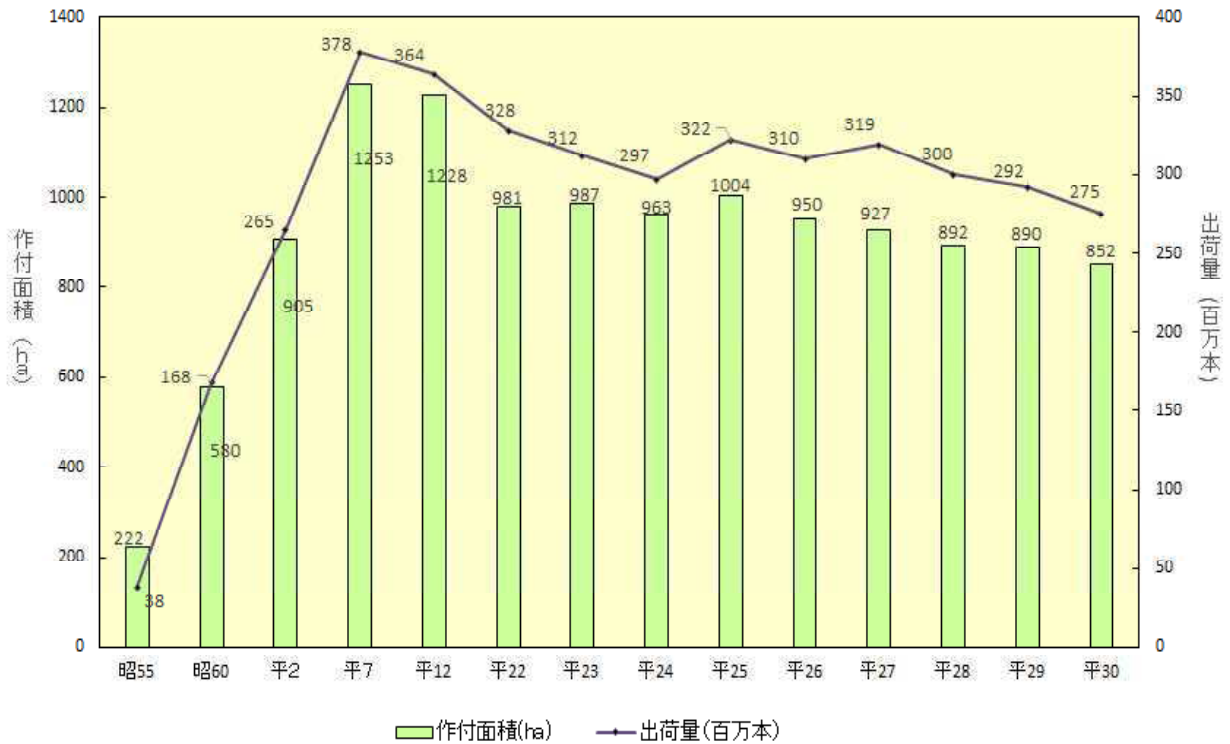
ゴーヤーの新品種「ていだみどり」

(3) 花き

本県の花き生産は、冬春期の温暖な気象条件を活かし、生産農家や出荷団体等の意欲的な取組と産地育成のための各種施設整備等を行ってきた。拠点産地の形成も進み、キク類を中心に、洋ラン、熱帯花き類、切り葉等の栽培が行われており、近年はトルコギキョウの栽培も増加している。

平成30年の産出額は、88億円で農業産出額の8.9%を占めており、作付面積は852ha、出荷量は切花類275百万本、鉢物類42万鉢となっている。

花き生産の推移



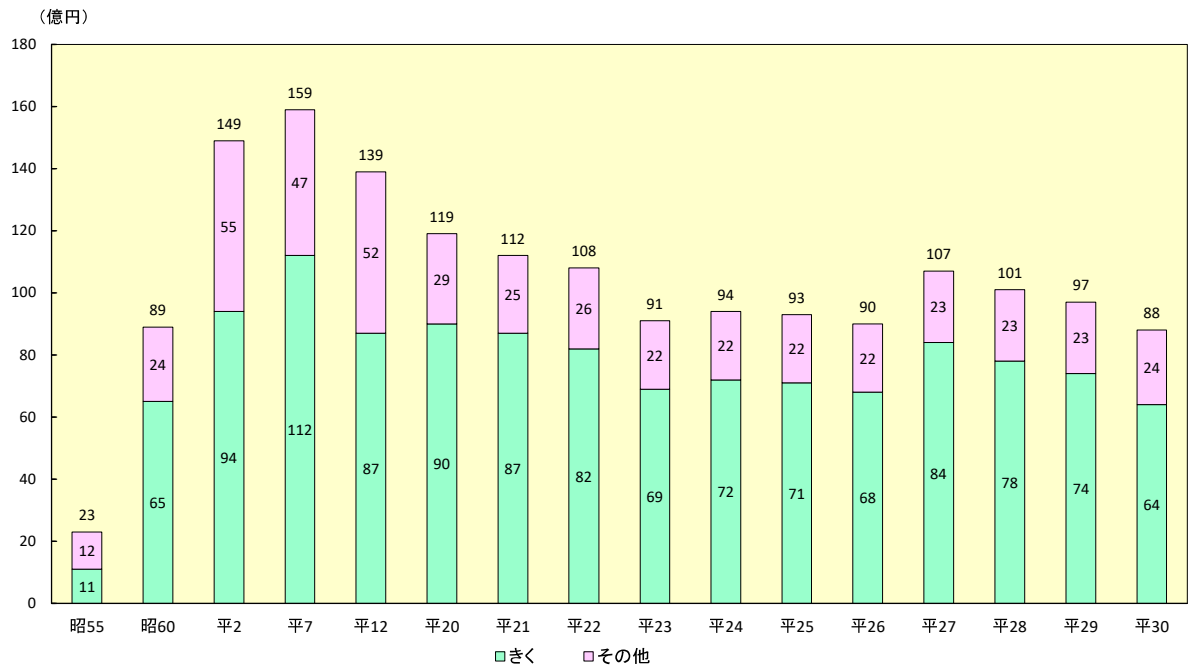
資料：沖縄県園芸振興課資料

主要品目の全国シェア

	年産	全国における順位	出荷量(千本)		県/全国(%)	備考
			沖縄県	全国		
きく	令和元年	2位	252,600	1,412,000	17.9	1位 愛知県 3位 福岡県
切り葉	令和元年	2位	24,400	121,800	20.0	1位 東京都 3位 鹿児島県
洋ラン	令和元年	3位	1,500	14,600	10.3	1位 福岡県 2位 徳島県

資料：農林水産省「花き生産出荷統計」

花き産出額の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」



平張施設 (キク)



トルコギキョウの栽培状況



自動選別結束機 (キク)



小ぎくの栽培状況
(電照用LED電球)



沖縄県花き品評会出品状況



県産花きの展示

(4) 果樹(パイナップルを除く)

本県の果樹は、初春のタンカンを皮切りに、夏場にはリゾート沖縄を象徴するマンゴー、8月中旬から全国に先がけて青切りの温州みかんが生産されている。

パイナップルを除く平成30年の産出額は48億円で、主な品目の生産量は、マンゴー1,793トン、タンカン870トン、シークワサー3,289トン、温州みかん229トンとなった。

果樹(主な品目)生産の推移

		単位	昭60	平2	平7	平12	平18	平22	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
マンゴー	結果樹面積	ha	6	44	109	202	212	228	245	249	249	242	245	254	265
	収穫量	t	48	278	635	1,290	1,550	1,711	1,227	1,597	1,931	2,035	1,296	2,206	1,793
タンカン	結果樹面積	ha	117	129	157	240	258	242	213	187	172	186	171	94	93
	収穫量	t	924	1,430	2,070	1,390	1,840	961	821	671	565	1,028	1,130	1,383	870
シークワサー	結果樹面積	ha	157	145	117	95	102	193	336	371	384	378	364	363	362
	収穫量	t	677	1,416	1,480	135	1,590	2,432	1,417	3,479	2,799	3,676	3,058	3,398	3,289
温州みかん	結果樹面積	ha	161	205	205	177	137	84	59	57	57	55	55	28	28
	収穫量	t	2,700	2,120	2,710	2,050	1,170	545	351	251	333	244	305	156	229
バナナ	結果樹面積	ha	-	67	67	41	39	22	21	14	20	-	-	8	9
	収穫量	t	463	174	249	150	194	179	124	58	115	107	174	131	86
パパイヤ	結果樹面積	ha	5	28	27	22	7	8	7	6	7	5	-	3	2
	収穫量	t	25	88	230	171	204	183	92	93	44	58	56	87	49
ドラゴンフルーツ	結果樹面積	ha	-	-	-	-	53	41	19	11	11	10	4	6	4
	収穫量	t	-	-	-	-	577	358	147	133	157	154	91	106	63
パッションフルーツ	結果樹面積	ha	-	-	-	-	15	15	14	12	13	9	12	13	11
	収穫量	t	-	-	-	-	179	132	90	79	119	103	121	128	128

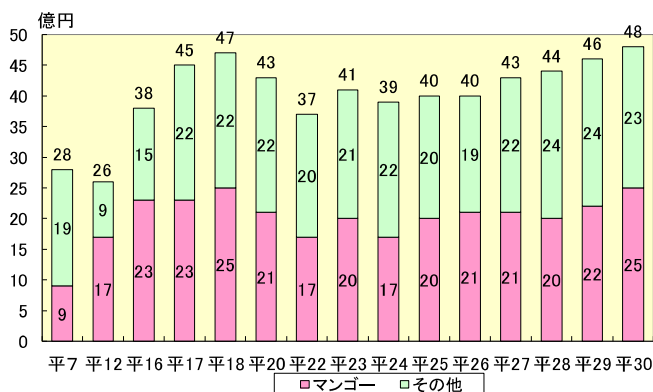
資料：内閣府沖縄総合事務局「園芸・工芸農作物市町村別統計書」、沖縄県園芸振興課資料（R2.12月現在）

主要果樹の全国シェア

	年産	全国における順位	生産量(t)		県/全国(%)	備考
			沖縄県	全国		
マンゴー	平29	1位	2,206	4,047	54.5	2位 宮崎県 3位 鹿児島県
パパイヤ	平29	2位	87	403	21.6	1位 鹿児島県 3位 宮崎県
シークワサー	平29	1位	3,398	3,399	100.0	2位 鹿児島県
タンカン	平29	2位	1,383	4,675	29.6	1位 鹿児島県 3位 宮崎県

資料：農林水産省「特産果樹生産動態等調査」

果樹(パイナップルを除く)産出額の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」



マンゴー (アーウィン)



青切りシークワサー

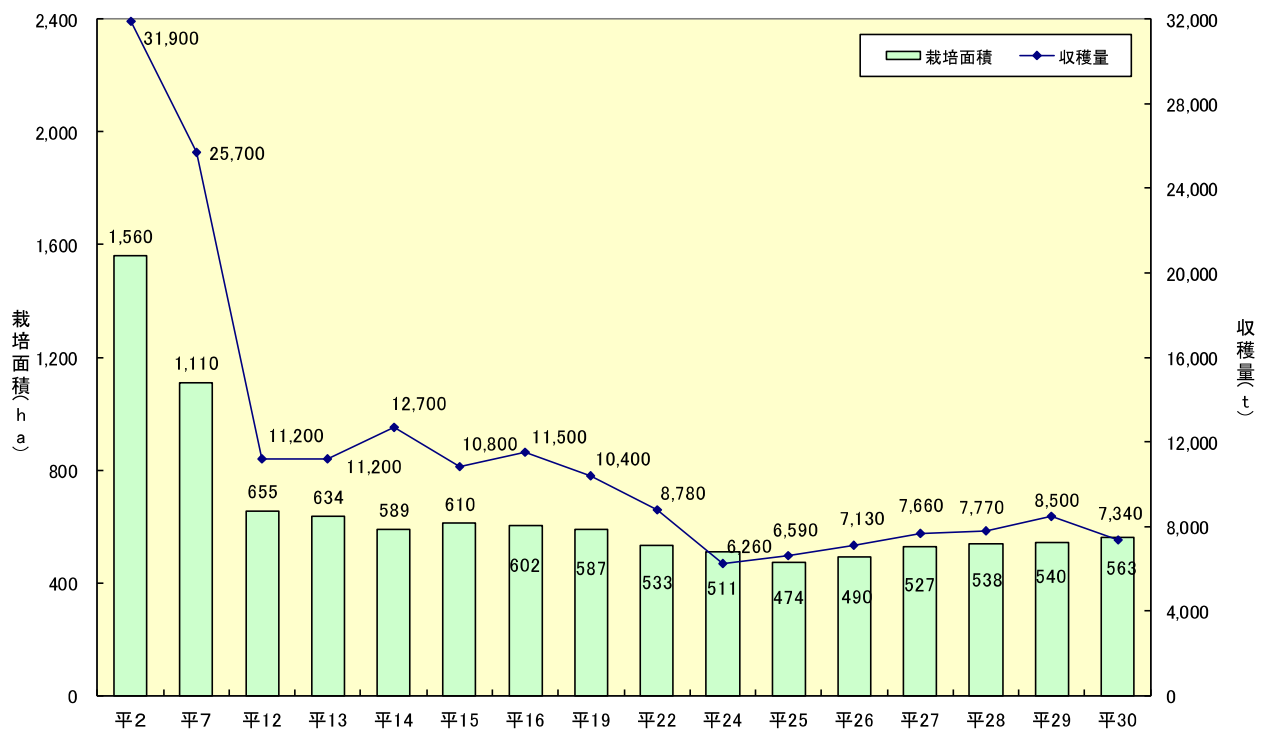
(5) パインアップル

パインアップルは、本県特産の果実として本島北部や八重山などの酸性土壌地域で栽培されている。

平成30年は、産出額12億円、栽培面積563ha、収穫量7,340トンとなっている。

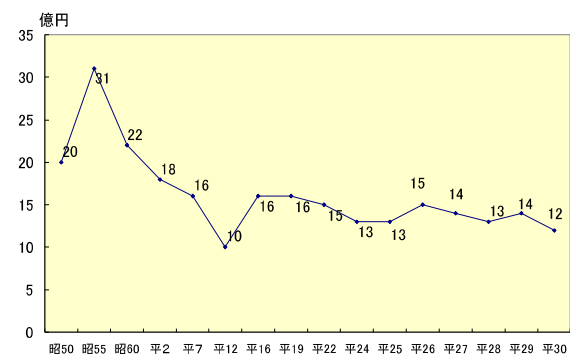
パインアップルの生産供給体制を強化するため、優良品種の普及等によるブランド構築、生食用と加工原料用生産のバランスのとれた生産体制の確立、ハウス導入による品質向上と出荷期間の拡大、機械化の推進による労力の軽減を図る。

パインアップル生産の推移

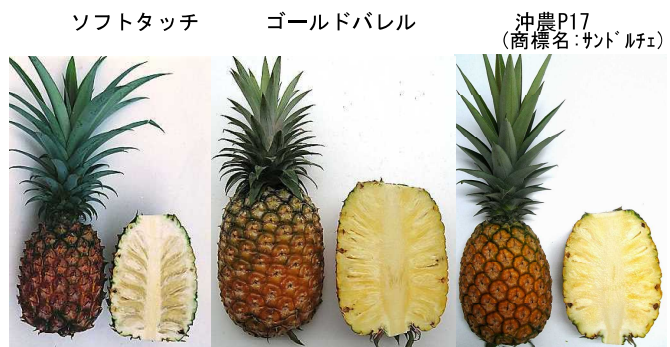


資料：農林水産省「農林水産統計データ：沖縄県のパインアップルの栽培面積・収穫面積・10a当たり収量・収穫量・出荷量」

パインアップル産出額の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」



パインアップル生食用優良品種

(6) 葉たばこ

葉たばこは、さとうきびの複合作物として、宮古、八重山、伊江などの離島地域を中心に生産が行われ、地域の重要な作物として生産されている。

令和2年は、収穫面積772ha、収穫量1,685トンとなった。

葉たばこ生産の推移

	単位	昭47	昭55	昭60	平2	平7	平12	平17	平22	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2
収穫面積	ha	336	1,099	870	722	1,023	1,351	1,247	1,141	944	944	928	914	874	826	772
収穫量	t	605	1,681	1,843	1,389	2,359	2,522	1,850	2,249	1,803	1,415	1,813	1,968	2,097	1,764	1,685

資料：沖縄県たばこ耕作組合資料

(7) 水稲

本県の水稲は、本島北部離島や八重山地域を中心に生産されており、当該地域における重要な作物となっている。

令和元年は、作付面積677ha、収穫量2,000トンとなっており、そのうち一期作が作付面積506ha、収穫量1,670トン、二期作が作付面積171ha、収穫量321トンとなった。

水稲生産の推移

	単位	昭47	昭55	昭60	平2	平7	平12	平17	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元
作付面積	ha	3,130	1,100	773	881	1,130	1,150	1,060	914	921	919	890	860	788	785	727	716	677
収穫量	t	7,780	2,810	2,390	2,520	3,740	3,580	3,000	2,680	2,540	2,450	2,390	2,240	2,320	2,300	2,190	2,200	2,000

資料：農林水産省「作物統計調査」等

(8) かんしょ

本県のかんしょ生産は、令和元年産で作付面積272ha、収穫量3,540トンとなっており、青果用や加工用に出荷・利用されている。

県内の拠点産地としては、読谷村、今帰仁村、八重瀬町具志頭、うるま市、久米島町、石垣市、宮古島市が認定されている。

かんしょ生産の推移

	単位	昭47	昭55	昭60	平2	平7	平12	平17	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元
作付面積	ha	3,050	658	483	453	408	293	275	253	254	249	252	252	263	263	294	281	282	272
収穫量	t	74,400	15,100	11,500	9,600	8,850	5,860	4,430	4,790	4,100	3,610	4,020	4,340	4,810	4,200	5,040	3,820	3,770	3,540

資料：農林水産省「作物統計調査」等



葉たばこ圃場



「ひとめぼれ」(石垣市)



奨励品種「ちゅら恋紅」

(9) 薬用作物

本県の薬用作物は、ウコン類、アロエベラ、クミスクチン、グアバ等が栽培され、お茶や健康食品として加工・販売されている。

県内の拠点産地として、名護市(ウコン)、南城市佐敷(薬用作物)、うるま市具志川(グアバ(茶))、与那国町(ボタンボウフウ)が認定されている。

薬用作物(主な品目)生産の推移

		単位	平12	平17	平22	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元
アロエ	収穫面積	ha	25.5	36.1	15.5	14.1	5.8	9.3	9.2	6.1	2.6	2.2	1.9
	生産量	t	66.4	68.9	38.3	12.0	9.5	10.0	10.3	9.7	4.5	2.2	2.3
ウコン	収穫面積	ha	32.9	39.9	18.0	17.9	41.8	32.7	30.0	37.5	42.7	53.5	54.6
	生産量	t	70.4	77.5	32.1	15.0	21.3	50.8	41.9	102.6	49.1	59.0	73.1
クミスクチン	収穫面積	ha	0.9	3.7	1.9	2.5	2.3	2.4	2.4	1.0	1.0	1.0	0.7
	生産量	t	4.5	9.4	4.9	6.5	3.7	4.3	4.3	2.5	1.6	1.6	2.0
グアバ(茶)	収穫面積	ha	1.4	5.7	5.0	5.1	5.0	5.0	4.6	5.1	2.3	3.7	1.1
	生産量	t	1.6	3.5	2.4	7.8	7.7	7.7	7.7	6.2	6.1	5.0	4.5
ボタンボウフウ	収穫面積	ha	0.5	5.6	25.3	27.2	27.1	27.0	27.0	27.0	22.0	22.0	21.1
	生産量	t	0.8	3.3	26.6	32.3	26.3	35.4	29.5	29.9	37.8	37.8	36.1

資料：沖縄県糖業農産課資料



茶の栽培状況



紫ウコン(ガジュツ)、春ウコン、秋ウコン



ボタンボウフウ(長命草)

(10) 茶

茶は、主に沖縄本島中北部の山間傾斜地で栽培され、温暖な気象条件のもと、一番茶が他府県より1か月早く収穫できる有利な条件にあり、地域特産物として生産・加工が行われている。

茶生産の推移

	単位	昭47	昭50	昭55	昭60	平2	平7	平12	平17	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元
作付面積	ha	110	109	83	72	66	63	45	41	41	40	38	36	32	31	30	-	-	-
生葉収穫量	t	784	1,118	862	776	482	474	394	-	-	-	-	-	152	-	-	-	-	-
荒茶生産量	t	-	244	178	154	92	95	78	-	-	-	-	-	31	-	-	-	-	-

資料：農林水産省「作物統計調査」

注：平成17年以降、栽培面積以外については、5年周期年調査に移行。

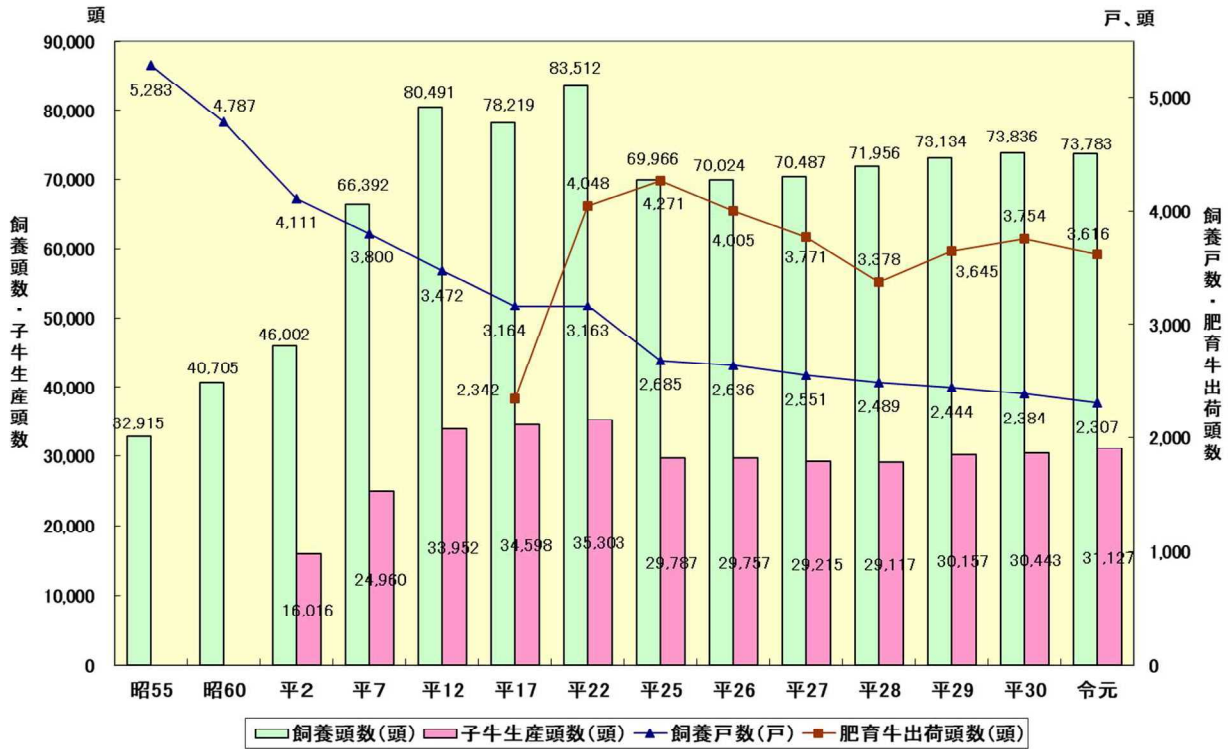
平成29年以降から全国調査は6年毎の実施に変更。

(11) 肉用牛

本県は、令和元年の子牛生産頭数が31,127頭、家畜市場での取引頭数は24,953頭で全国第4位の子牛生産地となっており、令和2年3月に県内9件目の肉用牛（子牛）拠点産地として竹富町を認定した。令和元年度の肉用牛産出額は、過去最高の239億円となり畜産産出額の約半数を占め県内畜産のリーディング産業となっている。

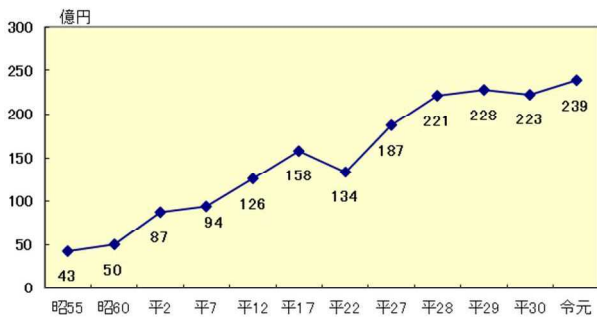
また、令和元年度沖縄県畜産共進会肉牛の部において第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会における第7区の交配種雄牛である「百合北」産子が優秀1席に輝き、今後の成績が大いに期待される。

肉用牛生産の推移



資料：沖縄県畜産課「12月末家畜・家きん等の飼養状況調査」、(公社)日本食肉格付協会「牛枝肉格付情報」（年次集計）

肉用牛産出額の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

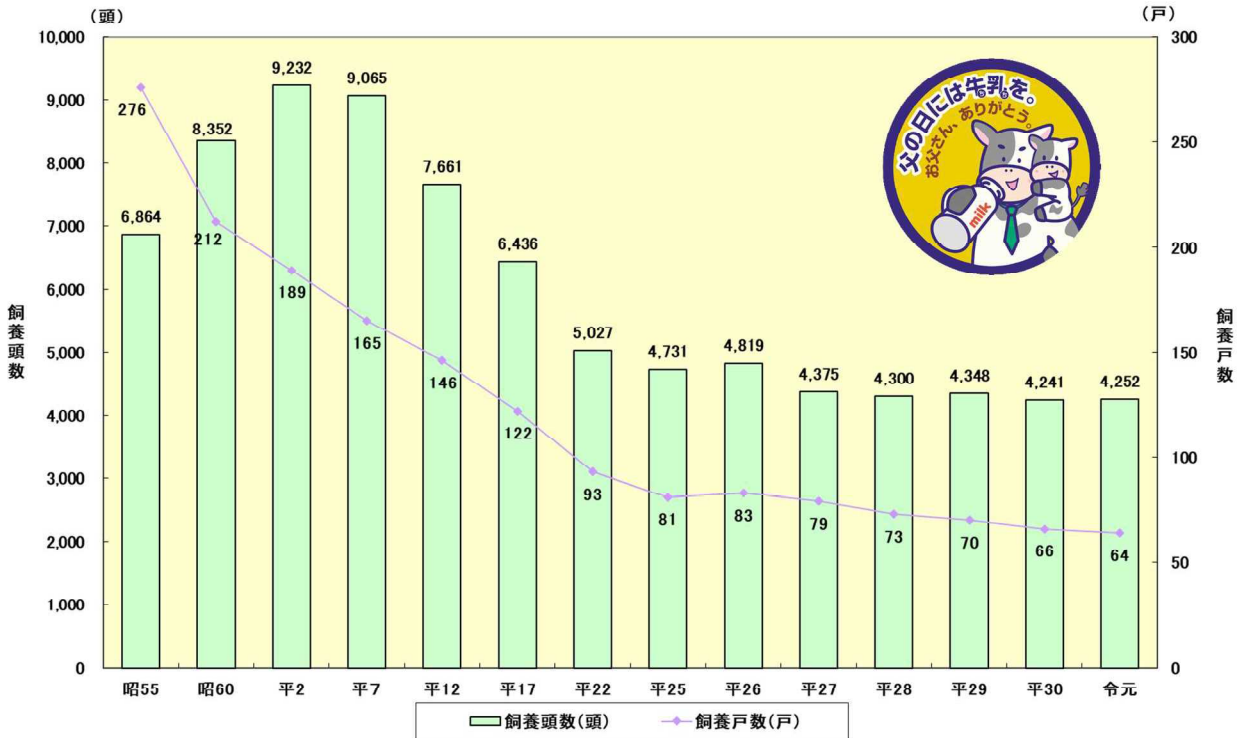


(12) 酪農

本県の酪農は、県内市場への県産生乳の供給や学校給食への生乳供給によって、県民の健康増進に大きく寄与している。

一方、担い手不足、育成牛や飼料価格の高騰等によって、飼養戸数、頭数ともに減少傾向にある。安定的な生乳生産を図るため、沖縄県家畜改良センターを活用した自家育成等の推進による生産コスト低減に努めている。

乳用牛生産の推移



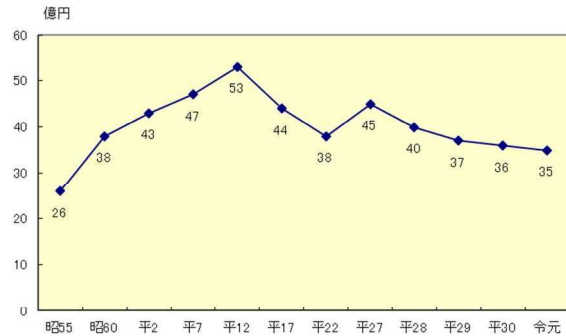
資料：沖縄県畜産課「12月末家畜・家さん等の飼養状況調査」

生乳生産量・生乳自給率の推移

	単位	昭55	昭60	平2	平7	平12	平17	平22	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元
生乳生産量	トン	17,879	26,202	31,208	37,756	42,999	37,787	28,031	28,281	26,797	26,682	25,812	24,758	24,118	23,418
生乳自給率	%	48.3	60.7	71.9	78.8	96.9	96.6	80.6	88.3	87.9	86.3	85.7	83.7	83.0	83.4

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計調査」、沖縄県畜産課資料

乳用牛生産額の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」



「父の日には牛乳(ちち)を贈ろう」キャンペーン